

2014年3月3日  
株式会社日本政策金融公庫  
総合研究所

## 中小企業景況調査(2014年2月) 要約版

[概況] 中小企業の売上げDIは上昇、売上げ見通しDIは低下  
～売上げ見通しDIは、2カ月連続で低下したものの、二桁のプラス水準を維持～

### 1 売上げ

2014年2月の売上げDIは、前月(▲2.7)から上昇し、10.5となった。上昇は2カ月ぶりである。  
今後3カ月の売上げ見通しDIは11.7と、前月(21.6)から低下した。低下は2カ月連続となるものの、13カ月連続でプラス水準となっている。

### 2 利益

利益額DIは、13.9と、前月(7.0)から上昇した。7カ月連続でプラス水準となっている。

### 3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、6.5と、前月(5.2)から上昇し、4カ月連続でプラスとなった。仕入価格DIは、27.8(前月:26.2)と上昇し、販売価格DIとの差は開いている。

従業員判断DIは、5.3と、前月(0.6)から上昇した。2008年3月(6.8)以来の高い水準となっている。生産設備判断DIは、▲4.3(前月:▲11.1)と、5カ月連続で上昇した。一桁のマイナスになるのは、2008年10月(▲9.3)以来である。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

＜調査の要領＞	調査時点	2014年2月中旬
	調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏455社、中京圏141社、近畿圏304社)
	有効回答企業数	649社
	回答率	72.1%

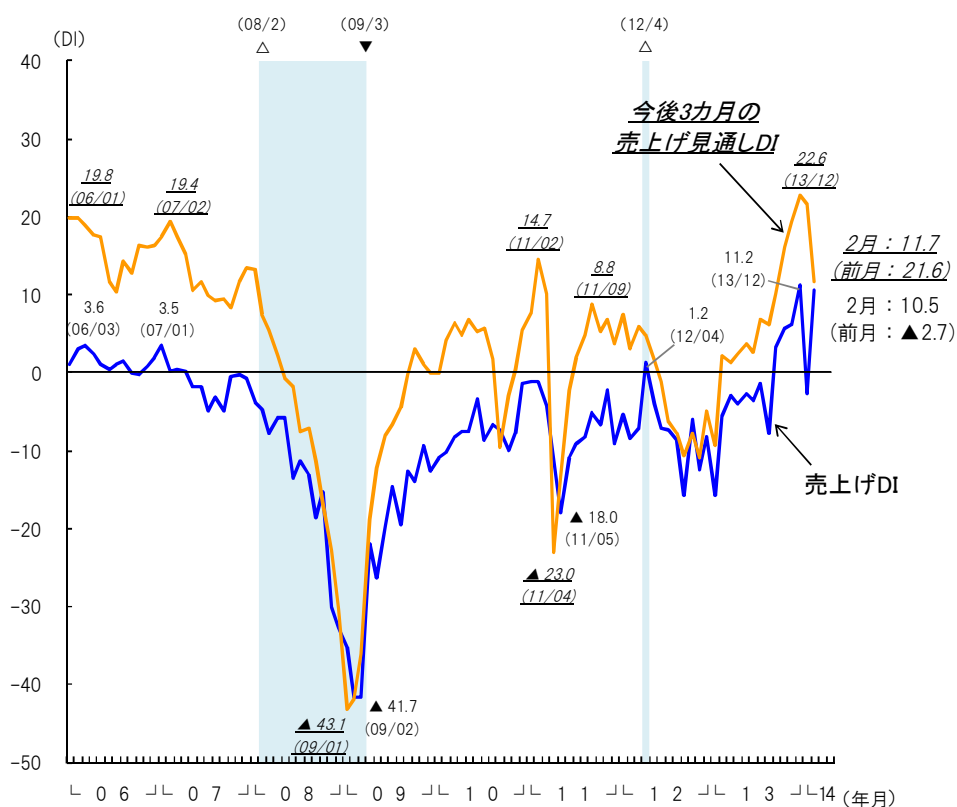
### ＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704(担当:桑本、神谷)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

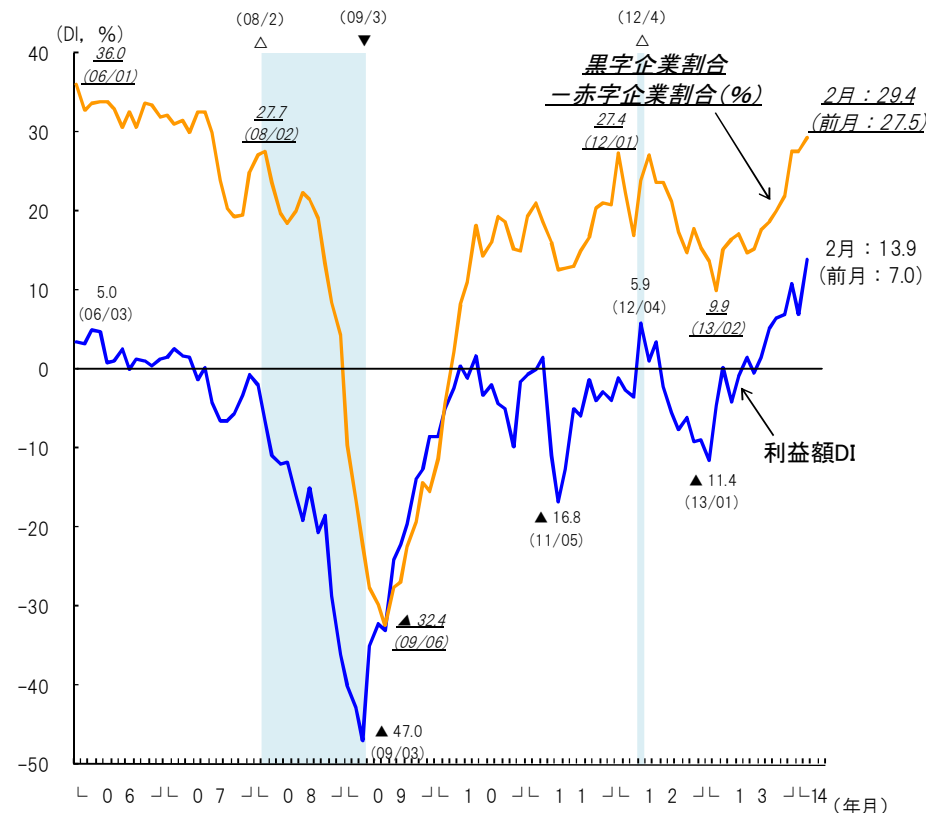
- 売上げDI(「増加」-「減少」)は、10.5と、前月から13.2ポイント上昇した。
- 売上げ見通しDI(「増加」-「減少」)は、11.7と、前月から9.9ポイント低下した。低下は2カ月連続である。
- 利益額DI(「増加」-「減少」)は、13.9と、前月から6.9ポイント上昇した。プラスとなるのは7カ月連続である。
- 黒字-赤字企業割合は、29.4と、前月から1.9ポイント上昇した。

図-1 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。  
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。  
 3 シャド-部分は景気後退期を示す。ただし、2012年4月以降については、まだ景気の谷が設定されていないことからシャド-は付けていない(以下同じ)。

図-2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。  
 2 黒字および赤字の判断については過去3カ月の実績による(季節調整値)。

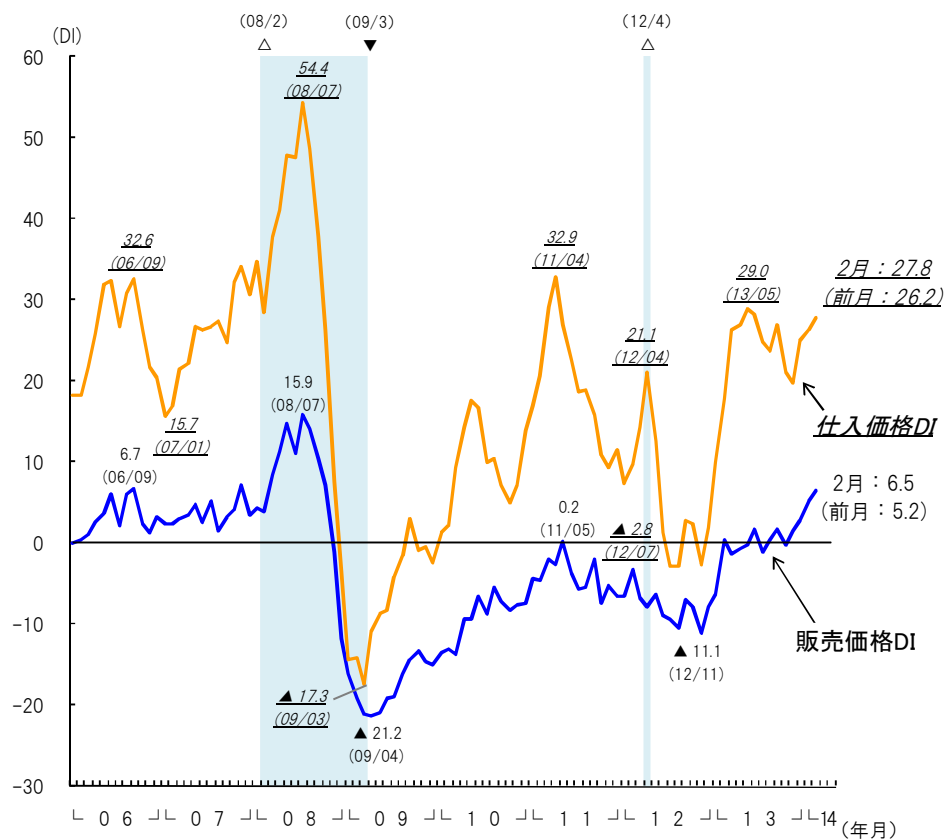
○販売価格DI(「上昇」-「低下」)は、6.5と、前月から1.3ポイント上昇した。上昇は4カ月連続である。

○仕入価格DI(「上昇」-「低下」)は、27.8と、前月から1.6ポイント上昇した。このところ高い水準が続いている。

○従業員判断DI(「不足」-「過剰」)は、5.3と、前月から4.7ポイント上昇した。2008年3月以来の高い水準となっている。

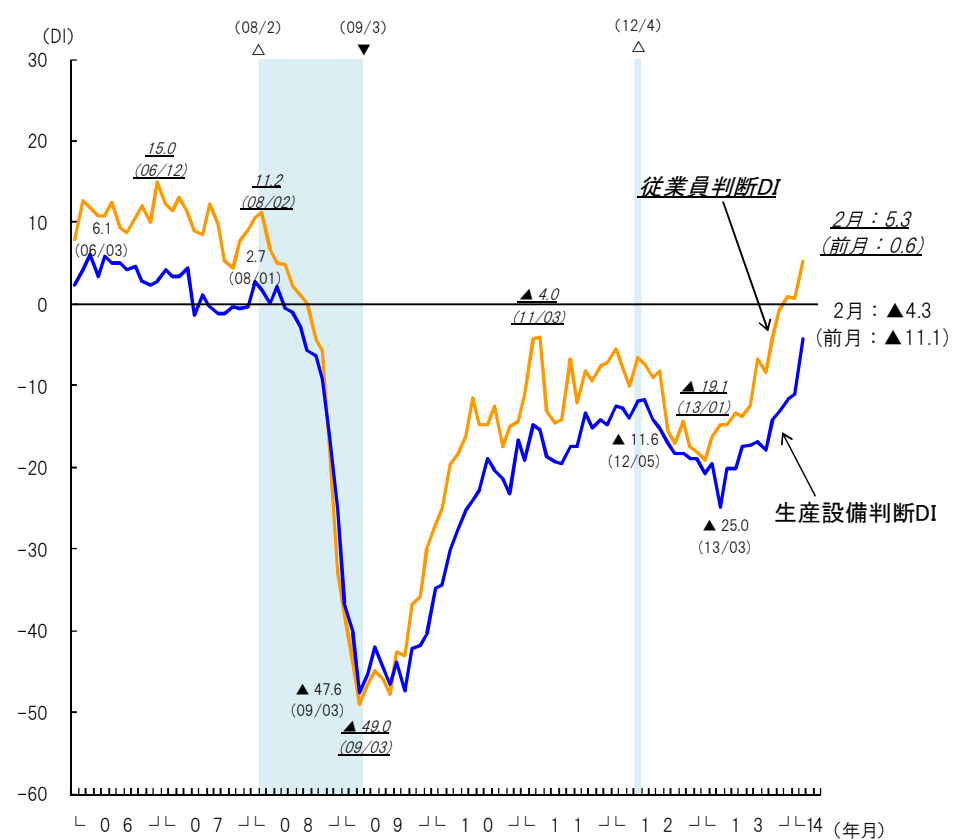
○生産設備判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲4.3と、前月から6.8ポイント上昇した。2008年10月以来5年4カ月ぶりに一桁のマイナスとなった。

図-3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。  
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。

図-4 従業員状況、生産設備の判断

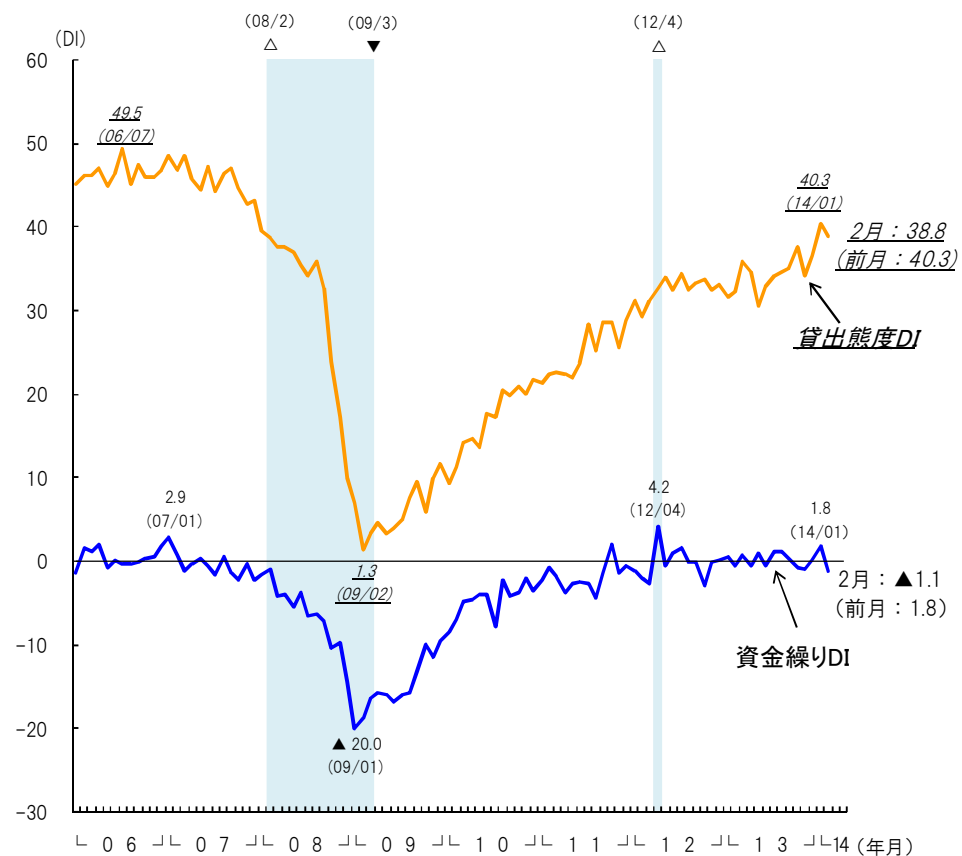


(注) 1 従業員判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。  
2 生産設備判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。

○資金繰りDI(「余裕」-「窮屈」)は、▲1.1と、前月から2.9ポイント低下した。

○貸出態度DI(「緩和」-「厳しい」)は、38.8と、前月から1.5ポイント低下した。

図-5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」-「窮屈」企業割合(季節調整値)。

2 貸出態度DIは「緩和」-「厳しい」企業割合。